



水道の普及率

(2016年度末)

1位 東京都、大阪府、沖縄県

100.0%→

4位	神奈川県	99.9%→
4位	愛知県	99.9%↗
6位	埼玉県、兵庫県	99.8%→
8位	京都府	99.7%→
9位	群馬県	99.6%↗
9位	三重県	99.6%→
11位	山梨県	99.4%↗
11位	新潟県	99.4%→
11位	滋賀県	99.4%↘
14位	香川県	99.3%↘
15位	奈良県	99.2%↘
16位	和歌山県	99.1%↗
17位	宮城県、静岡県、岡山県	99.0%→
20位	山形県、長野県	98.9%↗
22位	石川県	98.7%→
23位	長崎県	98.5%→
24位	北海道	97.9%↘
25位	鳥取県	97.7%↗
26位	青森県	97.5%↗
26位	鹿児島県	97.5%↘
28位	宮崎県	97.4%↗
29位	島根県	97.0%↗
30位	徳島県	96.9%→
31位	福井県	96.4%↗
32位	栃木県	96.1%↗
33位	岐阜県	95.5%↘
34位	千葉県	95.2%↗
35位	佐賀県	95.1%↗
36位	茨城県、広島県	94.4%↗
38位	福岡県	94.2%↗
39位	高知県	94.1%↗
40位	岩手県	94.0%↗
41位	福島県	93.5%↗
42位	山口県	93.4%↗
43位	富山県	93.1%→
44位	愛媛県	93.0%→
45位	大分県	91.9%↗
46位	秋田県	91.2%↗
47位	熊本県	87.6%↗

厚生労働省

熊本県は降水量が多く、雨水を浄化する地層などの自然条件がそろっているため地下水が豊富。そのため、井戸水を使っている地域もあり普及率が低い。